

第三者割当による第6回乃至第8回新株予約権発行
及び無担保融資ファシリティー契約締結による
資金調達に関する補足説明

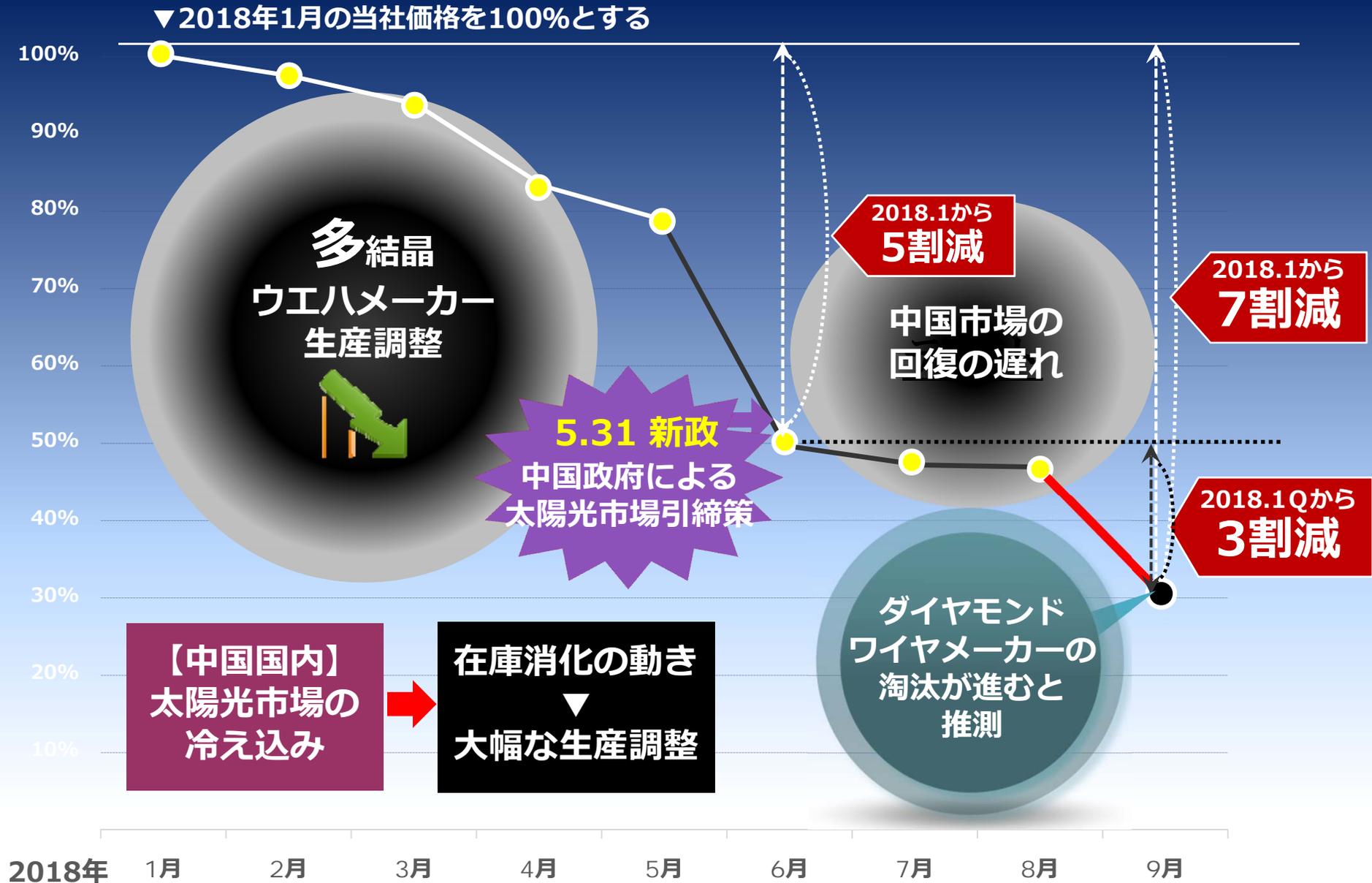
株式会社中村超硬

(証券コード) 6166

2018.12.27

資金調達背景

ダイヤモンドワイヤ価格の推移



ダイヤモンドワイヤの市場価格
年初に比べ約7割下落

ダイヤモンドワイヤ事業環境の悪化

ダイヤモンドワイヤの
製品在庫・原材料等の評価減
1,984百万円の計上

当社の固定資産に対し減損の兆候

帳簿価額を回収可能価額まで減額

固定資産の減損 5,011百万円の計上

債務超過 **428百万円**

(2019年3月期 第2四半期末現在)

債務超過解消に向け以下の施策を実施

1) ダイヤモンドワイヤ事業の収益力の回復

- ① 単結晶市場での顧客開拓
- ② 極細線ダイヤモンドワイヤの販売推進
- ③ 原価低減のさらなる強化

2) 固定費の削減

- ① 沖縄工場の一時休止
- ② 徹底した生産体制の最適化、管理可能な経費の削減等の実施

3) 財務基盤の安定化

資本増強策を実施

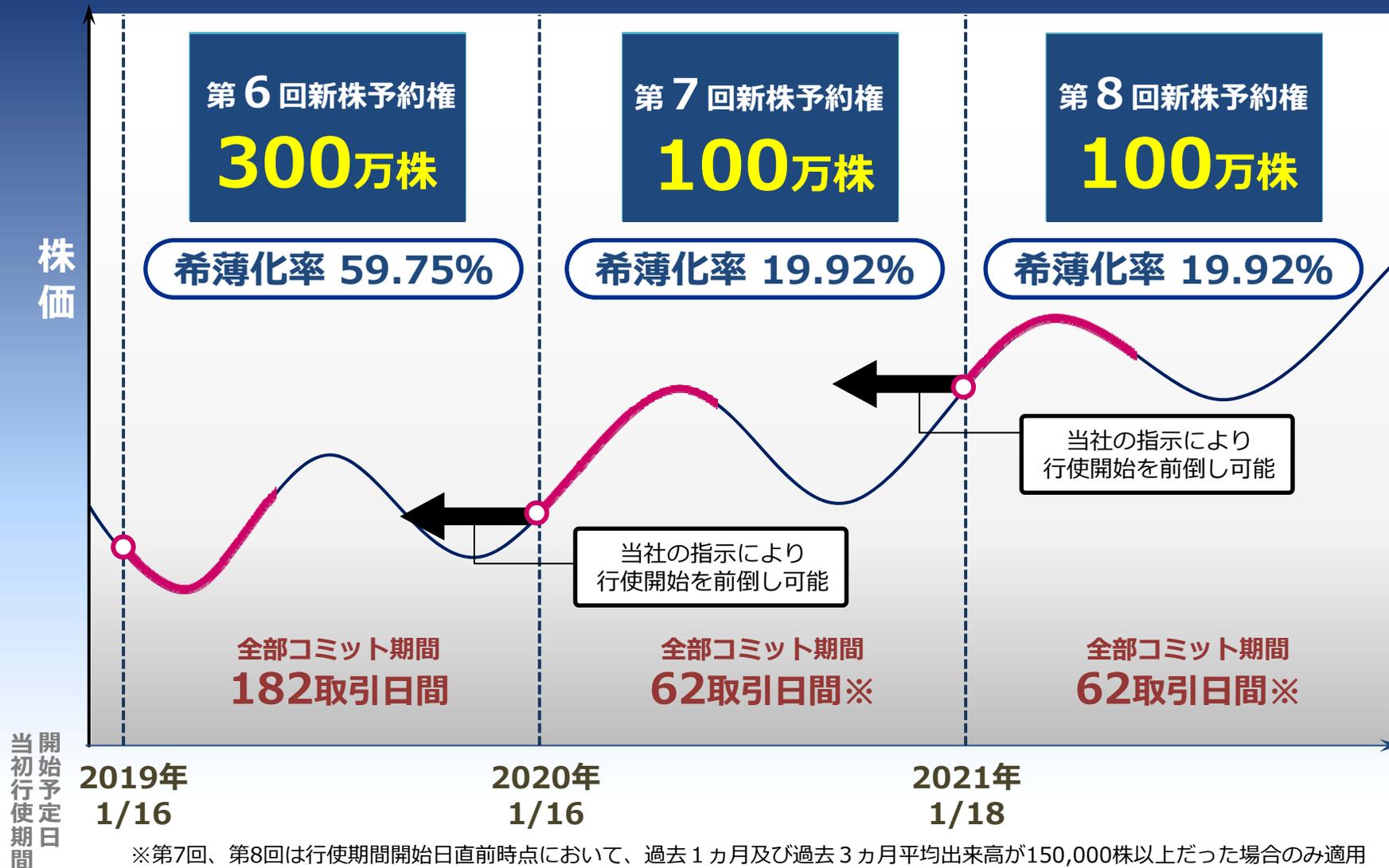
早期に債務超過からの脱却を目指してまいります

資金調達の概要

今後3年間の資金調達をあらかじめプログラム設計

割 当 先	EVO FUND (エボ ファンド)
潜在株式数	第6回 3,000,000株 第7回 1,000,000株 第8回 1,000,000株 合計 5,000,000株
現当社発行株数 5,020,900株	
希薄化率	99.58% (全て行使された場合)
調達資金	3,449百万円
行使価格	5価格算定日間のVWAP平均の90%

今後3年間の資金調達をあらかじめプログラム設計



発行時にローン・ファシリティを設定

各回の新株予約権の行使に先行して資金を確保することが可能

調達金額

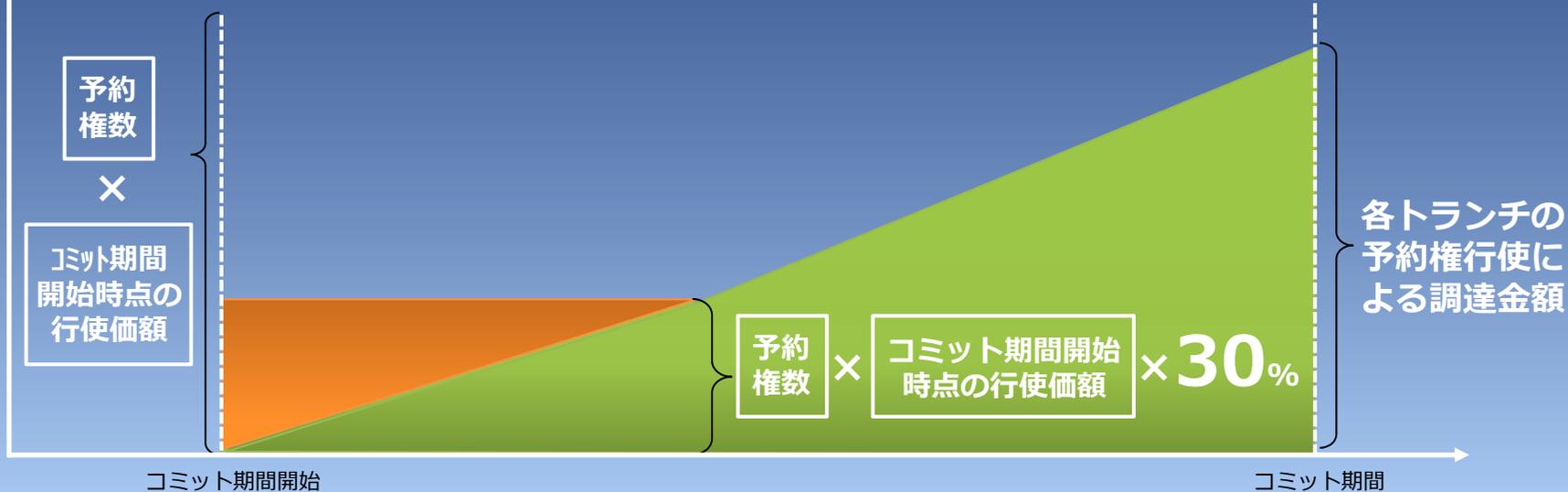
<ローン実行要請可能>

各回の新株予約権の行使開始時に

その時点の行使予定トランチ予約権数×行使価額×30%

を上限としてローンの実行が可能（但し極度額あり）

全部
コミット



無担保融資ファシリティ契約

極 度 額：7億円

期 間：2019/1/15～第8回新株予約権全部コミット期間満期日

金 利：年率1.0%

個別貸付条件：コミット・イシューの残存時価の30%が上限、行使代金は全額を借入の返済に充当

▶ 今後3年間の資金調達プランが確定しているため
将来の資金調達見通しが立てやすい

▶ 株価に対する影響を抑制しつつ、全部コミット期間の行使前倒し指示による柔軟な資金調達が可能

▶ 当社や市場の将来の状況の変化を考慮しながら
当社の選択により、
第7回、第8回の新株予約権を取得・消却し、
資金調達をキャンセルすることが可能



既存株主の皆様への希薄化の影響を抑えることができる

調達資金の使途

財務基盤の安定を図り、今後の成長分野への投資を実現

調達予定総額

34.4億円

20.4億円

① 運転資金

- 原材料の仕入れ : 12 億円
- 人件費 : 8 億円
- その他費用 : 0.4億円

② 有利子負債の返済

借入金返済など有利子負債の返済に充当

7億円

③ フロー合成事業における 事業拡大に向けた設備投資

- 自動フロー合成設備の開発・導入 : 4 億円
- フロー式ペプチド合成装置の研究開発 : 3 億円

7億円

① 運転資金

2,049 百万円

原材料の仕入・人件費などの固定費に充当

- ▶ 資金決済タイミングのずれから生じる資金需要に充当
- ▶ 業績回復傾向により原材料等の仕入はさらに増加

来期もひっ迫した資金状況が予想される

資本性の資金調達を実施し、運転資金に充当

② 有利子負債の返済に充当

700 百万円

2018.9時点の有利子負債残高：8,102百万円

財務状態の改善 ▶ 企業の継続性・安定性の面から重要

③ フロー合成事業における事業拡大に向けた設備投資 700 百万円

自動フロー合成設備の開発・導入

400百万円

2019年3月期において受注開始

➔ 受託合成拡大+ 受託研究事業へ

マイクロリアクターシステムを用いた
自動フロー合成システムの改良・導入



フロー式ペプチド合成装置の研究開発

300百万円

特殊ペプチド医薬品原薬の受託製造会社 **ペプチスター社に参画**

マイクロリアクター関連技術を活かし、
高効率特殊ペプチド原薬の**製造装置の開発を担う**

本資料の取扱いについて

本資料は、当社が第三者割当による新株予約権の発行に関して情報提供を目的として公表するものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また本資料は、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。なお本件に関する詳細につきましては、平成30年12月27日付開示の「第6回乃至第8回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに新株予約権の第三者割当契約(コミット・イシュー・プログラム)及び無担保融資ファシリティー契約の締結に関するお知らせ」を併せてご覧ください。